



日本プライマリ・ケア連合学会
中国 ブロック支部 活動報告

発行人：田妻 進
〒734-8551
広島県広島市南区霞 1-2-3
広島大学病院 総合内科・総合診療科
Tel&Fax：081-82-257-5461

ニュースレター No. 9 (2015. 9)

【活動報告】

○中国ブロックでの指導医講習会報告

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック・松坂内科医院 松坂英樹
岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松下明

【m-HANDS FDF in 中国ブロック】(modified - Home and Away Nine DayS - Faculty Development Fellowship) の第1回を8月29日-30日に岡山大学で開催しました。

JPCA-MLで募集して中国地方の指導医9名が4回コースに参加されることになりました。

(指導スタッフは上記の松坂・松下に加え、出雲家庭医療センター：藤原和成先生、岡山家庭医療センター：中村奈保子先生でした。)以下にコースの概要と実際参加された指導医からの報告の一部を掲載しますのでご一読ください。2016年度も同じような枠組みを予定しますので、参加希望の方はご期待下さい。

〈目的〉

中国ブロックの指導医養成(教育)

〈対象〉

- ・中国ブロックに所属しており、家庭医療後期研修を終了した医師
- ・中国ブロックの家庭医療後期研修に関わる指導医

Core Competence：Adult Educator(成人学習支援者)

学習者と向き合い、その学びに気を配り、学びの場をサポートできる

教育者の役割と限界を知り、学習者と協同的に学び、生涯学習者を育てる姿勢で関わる
学習者の学びを促進するための理論と技術を適切に用いることができる

〈スケジュール〉

第1回 in 岡山 8月29日(土)-30日(日)

オリエンテーション/アイスブレイク、自己紹介、FD概論+成人学習理論

カリキュラム開発、フィードバック、プレゼンテーション、シネメデュケーション

30日はプライマリ・ケア連合学会主催のFD(経験者向け)に参加

第2回 in 島根 9月26日(土)–27日(日)

ポートフォリオ教育、指導のビデオレビュー、外来での指導、
模擬ティーチング(学生対象)、DTE(指導に困難をとまなう時)

第3回目 in 山口 12月5日(土)–6日(日)

ファシリテーション、指導のビデオレビュー、プレゼンテーション
模擬ティーチング(学生対象)

第4回目 in 岡山 1月30日(土)–31日(日)

模擬ティーチング(後期研修医対象)、症例カンファレンス、評価
カリキュラム作成・実施の報告、振り返り発表/まとめ

<課題>

事前読書課題あり、事後課題あり

自身の指導のビデオ撮影

チームを組んでのティーチング作成

中国ブロックのポートフォリオ発表会でFDの学びを発表

(当日 8/29–8/30の様子について 参加者からの報告)

・オリエンテーション・FD概論

まず最初に松坂先生から、今回のm-HANDSについてのオリエンテーション、FD (Faculty Development) 概説などのレクチャーがありました。続いて、アイスブレイクも兼ねて「自分にとって学ぶとは」というテーマで各自自由にLEGO® Educationを使用し、ブロックを組み立てました。大の大人が童心にかえって、みんなでワイワイ言いながら思い思いの作品を作り、和やかな雰囲気合計4回8日のFDがスタートしました。



・カリキュラム

Kemp Model によるカリキュラム構築

各施設で実際に使っている実習カリキュラムを考え直すというセッションでした。カリキュラムは時間割ではない！目標は設定されているか、事前評価はできているか、方略・評価方法が目標に対して適切かつ一貫性があるか、カリキュラムを改善するシステムが組み込まれているか、などをチェックしながら各自のカリキュラムを見直しました。実践的な質問が多く、明日から実習カリキュラムが変わる！という勢いを感じました。学生教育を担当するうえでの悩みなども交流できました。

・フィードバック

フィードバックのセッションの要旨は「学習者への『贈り物』として使いやすい形で渡すこと」でした。そのための環境作り(普段からの観察と信頼関係。フィードバックは学習者の自己分析報告から始める)、効果的なフィードバックのための「FAST」に留意したり、学習者の「気付き」のレベルに合わせて指導形態を変えることが重要であることを学びました。

・私の主張 (プレゼンテーション)

フェローが各自、私の主張と題しプレゼンを行った。プレゼンの方法は個人に任せられ、3分たったらず中でも終了するというルールで始まった。2名は途中で3分を超過したが、7名は3分以内にまとめて発表した。各々の内容は、命の大切さについて(ホワイトボード、体、本の紹介使用)、INSPIの紹介(パワーポイント使用、動画あり、音楽あり)などなど、各々が趣向を凝らしてインパクトのあるプレゼンを行った。今後短時間でいかに矯味を持ってもらい、趣旨をわかりやすく伝えるかの参考になった。

・5マイクロスキル

外来教育法で2日目が始まりました。藤原先生からの5 microskills についてのセッションでした。ロールプレイも行い、自信のない学生や整理できていない研修医への指導も学ぶこともできました。このセッションで一番学びになったのは、教育に唯一無二の方法はないということです。学習者や教授者の状況は常に変化しているので、学習者に最適な教授方法を選べるように引き出しを増やしていきたいです。

・シネメディケーション

シネメデュケーションは受講者の大半が未経験であった。映画2題の一部を視聴した。昼食を摂りながら、リラックスした雰囲気で見聴し各グループでディスカッションを行った。ディスカッションでは、義理人情の効用、プロフェッショナルリズム、教育の効果とそのリスク、学習スタイルの差などがテーマに上がった。指導医としてシネメデュケーションを教育方略として使用する際に、期待される効果と注意点を共有した。

・ファシリテーション

ファシリテーションにおいては、まず中立な立場で賛同や評価をせずに、チームをまとめる必要性を学んだ。そのためには、人と人をつなげる場の setting (円卓を囲むなど) を最初に行い、ファシリテーターとチームの中のリーダーをきちんと分けるのが重要と感じた。そしてテーマ (今回は教育について) と最終的なゴール (明日から実践出来ることなど) を決め、それに至るプロセスを発散、収束を使い分けまとめていく過程についても学んだ。話しあう時には、チームの中でタイムキーパーを作り、限られた時間の中で発散、収束を行い、最終的に構造化まで持つて行く過程を学んだ。構造化する上での、議論の描き方については様々なバリエーションがあり、テーマやゴールによって使い分けられることも学び、非常に多職種と話し合う時に有用性があると思われた。

(文責 松下明)



【支部報告】

○2017 年度から始まる総合診療専門医後期研修に向けて活動開始！ (鳥取県)

鳥取には、日本プライマリ・ケア連合学会の家庭医療専門医の後期研修プログラムが、東部・中部・西部に、5 つあります。総合診療専門医後期研修が 2017 年から開始されることもあり、鳥取県で統一したプログラムを作成しようと動き始めました。代議員、プログラム責任者、地域医療支援センター、県などが一緒になり、どうしたら魅力的なプログラムができ、実行に移せるのかを議論しています。平成 27 年 4 月、6 月と検討会を開催しました。次回は 9 月 23 日に行う予定です。

日本で人口の一番少ない県だったり、民芸の里だったり、褥瘡治療発祥の地であったり（因幡の白兔）、そんなキーワードも含めて、いろいろと考えています。プログラムの統合に関しては、基本的に合意することができました。統合の課題は、①研修の質の担保、②各施設・医師の研修に対する意識の差、③指導医の配置、④研修医の給与体系などが挙がってきています。プログラムの作成と同時に県内での研修の質の担保を図る仕掛けを作っていこうと考えています。また、日本内科学会の研修プログラムを意識しながらの動きもしていく必要があります。鳥取県外の皆さまとも意見交換をしながら、鳥取県の独自性も出すことができるプログラムを作成・実行したいと思っていますので、よろしくお祈りします！

谷口晋一（鳥取大学医学部地域医療学講座）

○「日本プライマリ・ケア連合学会 山口県支部」が発足（山口県）

山口県では、2012年、地域医療に従事する医師が日本プライマリ・ケア連合学会（以下、PC連合学会）の認定医・指導医を取得し、県内の総合医育成プログラムを充実させることを目的に、山口大学医学部地域医療推進学講座（県寄付講座）を事務局として「プロジェクトG」が発足しました。具体的には、メーリングリストを立ち上げ、PC連合学会の試験日程等の情報を共有し、認定医試験対策の勉強会等を開催しました。

2年間のプロジェクトの結果、県内のPC連合学会員数は54名から200名と増加し、認定医113名、指導医65名（平成26年3月末現在）となりました。県内のすべてのへき地公的医療機関（「地域枠」派遣対象10病院）を含む多くの医療機関に学会指導医が揃い、プロジェクトの目的が達成されました。現在、県内に5つの後期研修プログラム（Ver.2）が認定されています。

学会認定医・指導医を取得したプロジェクトGのメンバーから県内での認定医の更新や指導スキルの向上、後期研修プログラムの充実等を希望する声が上がりました。PC連合学会の正式な下部組織は中国ブロック支部までですが、プロジェクトGの組織をそのまま引き継ぐ形で、「日本PC連合学会 山口県支部」の設置（任意団体）が検討されました。県内の5つの後期研修プログラムの責任者、山口大学、県医師会、学会代議員で世話人を構成し、検討を重ね、定款も作成し、設立準備総会を経て、2015年4月支部会が発足しました。

山口県支部は、会員同士の絆をさらに強固にして、本学会を盛り上げ、次世代を育成し、地域住民や地域社会に貢献できる組織を目指したいと思っております。今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

【2014年度、2015年度の主な活動】

2014.7.18 第1回世話人会、メーリングリスト設置

2014.10.4 第1回総合診療セミナー（長州塾）（更新単位5単位）、第2回世話人会

2015.2.14-15 PC連合学会 中国ブロック支部交流会 in 山口（更新単位8単位）

山口県支部設立準備総会

2015.7.11 第1回世話人会

2015.10.17 第2回総合診療セミナー（長州塾）開催予定

場所：JCHO 徳山中央病院（更新単位5単位）

お問合せ・申し込みは、事務局 hekichi.shien@ymghp.jp（担当：山本）まで。

【世話人】五十音順（敬称略）

黒川 典子（山口大学医学部附属病院） 齊藤 裕之（萩市民病院）
坂田 勇司（宇部協立病院） 土屋 昌子（下関医療センター）
原田 唯成（いしいケアクリニック） 原田 昌範（山口県立総合医療センター）
三浦 俊郎（徳山中央病院） 吉本 正博（山口県医師会）

※山口県支部のメーリングリストに登録を希望される方は、事務局（山口県立総合医療センター内）
hekichi.shien@ymghp.jp（担当：山本）までご連絡ください。

文責：山口県支部長 原田昌範

○広島県支部活動報告（広島県）

・第109回プライマリ・ケアセミナー「画像診断の実際」

日時：2015年2月18日（水）19：00－21：00

会場：ホテルセンチュリー21 広島

講演：「超音波診断」「患者視線から考える上部経鼻内視鏡検査」

・第110回プライマリケア・セミナー「めまい診療を学ぶ」

日時：2015年5月29日（金）19：00－21：00

会場：ホテルグランヴィア広島

講演：「危険なめまいの見分け方」

川崎医科大学神経内科准教授 黒川勝巳先生 など

・第111回プライマリケア・セミナー「プライマリケア医が知っておきたい熱中症」

日時：2015年7月2日（木）19：00－21：00

会場：広島グランドインテリジェントホテル

講演：「熱中症診療のテクニック」

広島大学病院集中治療部講師 岩崎泰昌先生 など

・第1回広島総合診療セミナー

日時：2015年7月4日（土）15：00－18：00

会場：広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室

症例報告：8題

ミニレクチャー（座長 田妻進先生）

「ポリファーマシー」 安佐市民病院 原田和歌子先生

「感染症と悪寒戦慄」 県立広島病院 谷口 智宏先生

「不明熱FUOとは」 広島大学病院 溝岡 雅文先生

【事業予定】

○ 2015年島根県医師会プライマリ・ケア研修会

日時：2015年9月7日（月）19：30－20：30

会場：島根県医師会館 3階 講堂

講演：「CKDにおける家庭血圧管理の重要性」

島根大学医学部附属病院腎臓内科診療教授伊藤孝史 先生

座長：島根県医師会常任理事（プライマリ・ケア担当）葛尾信弘 先生

○広島プライマリケア・セミナー

日時：2015年10月2日（金）19：00－21：00

場所：リーガロイヤルホテル

レクチャー：『明日からできる「頸動脈エコー」』

まつおか内科脳神経内科 松岡直輝先生

パネルディスカッション：19：30－21：00

○第2回総合診療セミナー（長州塾）

日時：2015年10月17日（土）

場所：JCHO 徳山中央病院（更新単位5単位）

お問合せ・申し込みは、事務局 hekichi.shien@ymghp.jp（担当：山本）まで。

○中国ブロック支部交流会

日時：2016年3月12日（土）

場所：広島大学病院 たんぽぽ保育園2階 カンファレンスルーム2

内容：ポートフォリオ発表会、プログラム紹介など